

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科		理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名		義肢装具学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		2年		学期及び曜時限	前期	教室名	302 他
担 当 教 員		中村 宣郎 荒木 将平	実務経験と その関連資格	中村:義肢装具士として中村ブレイスで義肢装具の製作に従事 荒木:理学療法士として回復期病院、介護老人保健施設に勤務経験あり。臨床実習指導者の経験もある。			
《授業科目における学習内容》							
義手、義足、装具の基本的構造と機能について理解し、その種類や適合方法、切断の理学療法について学ぶ。							
《成績評価の方法と基準》							
筆記試験(100%)で評価する							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
義肢装具のチェックポイント 第8版							
《授業外における学習方法》							
義疎装具を改めてみたい場合、教員に申し出ること							
《履修に当たっての留意点》							
課題の提出遅れは加点しないものとする							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	義肢装具の使用目的が説明できる		教科書	上下肢の骨関節機能について復習	
		各コマにおける授業予定	義肢装具概論				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	わが国における切断の状況や原因疾患が説明できる		教科書	上下肢の骨関節機能について復習	
		各コマにおける授業予定	切断				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	義肢の使用目的と種類が説明できる		教科書	上下肢の骨関節機能について復習	
		各コマにおける授業予定	義肢学総論				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	義手の種類と装着方法、各機能が説明できる		教科書	上下肢の骨関節機能について復習	
		各コマにおける授業予定	義肢学各論(義手)				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	大腿義足の種類と装着方法、各機能が説明できる		教科書	上下肢の骨関節機能について復習	
		各コマにおける授業予定	義肢学各論(義足の部位と名称)				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	下腿義足のの種類と装着方法、各機能が説明できる	教科書	上下肢の骨関節機能について復習
		各コマにおける授業予定	義肢学各論(義足のアライメント)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	義足歩行時に生じる可能性のある異常歩行とその原因が説明できる	教科書	上下肢の骨関節機能について復習
		各コマにおける授業予定	義肢学各論4(義足歩行)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	装具の使用目的と種類が説明できる	教科書	上下肢の骨関節機能について復習
		各コマにおける授業予定	装具学総論		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	上肢装具の種類と適応症例について説明できる	教科書	上下肢の骨関節機能について復習
		各コマにおける授業予定	装具学各論(上肢装具)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢装具の種類と適応症例について説明できる	教科書	上下肢の骨関節機能について復習
		各コマにおける授業予定	装具学各論(下肢装具)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	体幹装具の種類と適応症例について説明できる	教科書	上下肢の骨関節機能について復習
		各コマにおける授業予定	装具学各論(体幹装具)		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	義肢装具士の行う業務とチーム連携について説明できる	教科書	上下肢の骨関節機能について復習
		各コマにおける授業予定	義肢・装具学演習(義肢製作現場の動き)		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	義肢の作成方法と採型について説明できる	教科書 石膏包帯	上下肢の骨関節機能について復習
		各コマにおける授業予定	義肢・装具学演習(義肢の装着チェック)		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	義肢装具士の行う業務とチーム連携について説明できる	教科書	上下肢の骨関節機能について復習
		各コマにおける授業予定	義肢・装具学演習(装具製作現場の動き)		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	装具の作成方法と採型について説明できる	教科書 石膏包帯	上下肢の骨関節機能について復習
		各コマにおける授業予定	義肢・装具学演習(装具の装着チェック)		